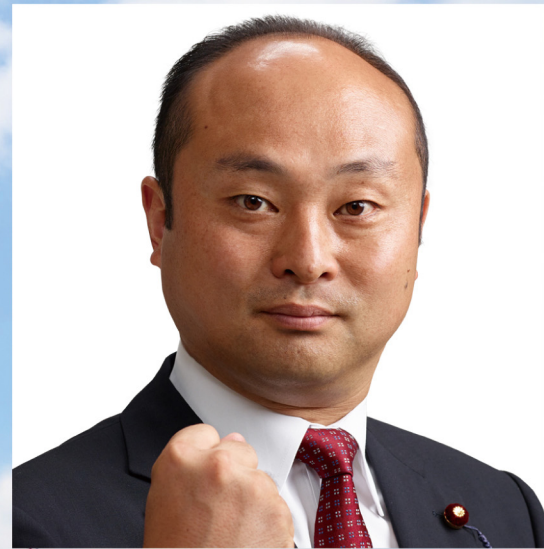


東京・国会内
平成26年上期
No.2

日本再建、俺がやる!!

自民党 衆議院議員 宮沢ひろゆき

国会宅配便



発行所 / 自由民主党静岡県第三選挙区支部 〒438-0086 静岡県磐田市見付5738-13 TEL:0538-30-7701 FAX:0538-30-7702

世界の真ん中で輝く国 日本!



▲4月13日
市内街頭演説



▲3月27日
地元市議決起集会



▲5月11日
春野町地すべり現地視察



▲4月13日
磐田市内国政報告会



▲4月15日
新茶初取引



アベノミクス二年目、東日本大震災から三年!

経済再生の効果を全国津々浦々にまで波及させることと、地震・津波対策に道筋をつけることが、全国的に重要な政策であると同時に、私にとつても最重要の課題です。

静岡県では製造業が盛んです。特に部品製造企業はじめ、多くの方々の賃金上昇実現のためには中小企業の受注価格アップと工場の国内回帰の二つの対策が必要です。政治がどのように関与して実現するか、非常に繊細な問題でもあります。また、津波対策は、市と県が協力して「静岡モデル」を構想しました。その実

現のためには、財源確保に国政の立場で取り組まなければなりません。同時にこれは、不安解消によって沿岸部の経済が安定すること、需要創出で経済の活性化を共に実現できるものでもあります。

その他にも、国防、農業、エネルギー、教育、医療・福祉など、「今」を逃すことの出来ぬ政策ばかりです。幸い、二〇三〇年の日本を描く党本部の国家戦略本部の主査に選ばれました。少子高齢化という負の要素を逆手にとり技術革新で課題解決先進国となる日本、海洋国家として世界に打って出て平和にも貢献する日本、そういう国家をつくるため、これから全力で奮闘します。

日本の新しい朝

日本経済の危機的な状況の中、私たちは政権を奪還し、三本の矢の政策によって、強い経済を取り戻す挑戦をいたしました。その結果、日本をずっと覆っていたあの厚く黒い雲を、私たちは間違いなく吹き飛ばすことができました。

しかし、ここからが正念場です。この景気回復の暖かい風を、全国津々浦々までお届けしていくことが政治の責任であります。企業の収益の改善、賃金の上昇、消費の拡大、企業の収益の改善という景気の好循環をつくらなければなりません。長い間続いたデフレから脱却をするために、それぞれができることをやる、これこそまさに瑞穂の国の資本主義です。

そして、年金、医療、介護、世界に誇るこの社会保障制度を守り、そして次の世代に引き渡していくという責任を果たすためには、伸びていく社会保障費に対応する必要があります。また、子育て支援をもっと拡充していく必要があります。そのための消費税引き上げなのですが、その影響を緩和し、成長軌道に戻るための経済対策と税制対策が必要です。その他にも、福島の復興の加速、地球儀を俯瞰する戦略的外交、国際協調主義に基づく積極的平和主義など、力強く進めて参ります。日本は今、黄昏ではなくて、新しい朝を迎えているのです。今年一年間、日本が世界の真ん中で輝く国になるように、一緒に頑張っていこうではありませんか。

(自民党大会 安倍晋三 総裁演説より)

【日本経済V字回復】

GDP 成長率	(H24/7~9月) -3.2%	→	(H25/1~3月) +4.5%
有効求人倍率	0.42倍 (H21/8月) ※リーマンショック後の最低値	→	1.0倍 (H25/11月)
昨年冬のボーナス	前年比 +3.9万円		

【政策実現へのあゆみ】

自動車取得税、減税成功

5% ↓ 3% (△2.0%)

※H26・4月より

自民党運輸・交通関係団体副委員長として税制調査会での議論を通して実現。

地震、津波対策

中東遠地域で「静岡モデル」のさきがけとして津波を防ぐ「防波施設」の構築の構想を検討中。市・県・国協力のもと進められており議論にも加わっています。



▲3月13日 巣箱架け 鳥類保護議連



▲3月27日 福祉施設にて



▲4月18日 赤坂御苑での春の園遊会



▲4月23日 東海税理士会通常総会



▲5月6日 探索船白嶺見学会



▲5月13日 いわた大祭りにて



▲5月25日 静岡県第三選挙区支部大会



▲6月4日 春野町サービス店会



▲6月19日 自民党カフェスタへの参加



▲6月29日 新事務所開き



▲7月3日 静岡県副知事来所



▲8月5日 東海税理士連盟来所



▲8月21日 全国高速道路建設協議会第49回大会



▲11月6日 地元の小学校国会参観



▲12月2日 「金鵒の会」設立総会



▲12月8日 自民党磐田支部臨時総会

宮澤博行 略歴

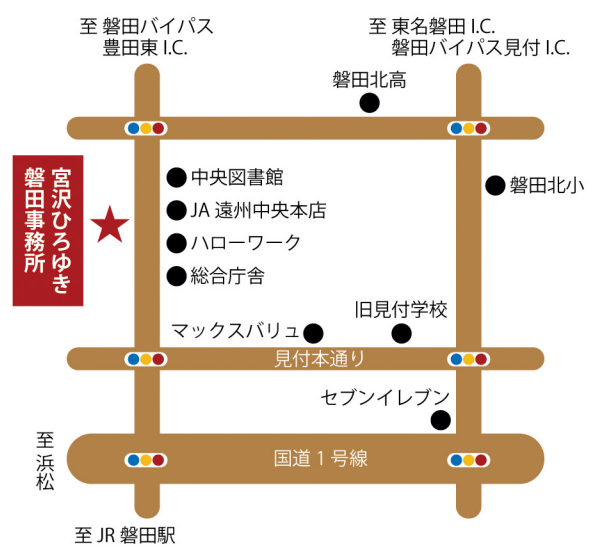
昭和50年1月 旧磐田郡に生まれる
 平成5年3月 磐田南高等学校卒業
 平成9年3月 東京大学法学部卒業
 平成15～24年 磐田市議会議員(3期)
 平成24年12月 衆議院議員 初当選

衆議院 国土交通委員会、法務委員会、
 原子力問題調査特別委員会 各委員
 自民党 運輸・交通関係団体副委員長
 自民党 国家戦略本部主査
 自民党 青年局長

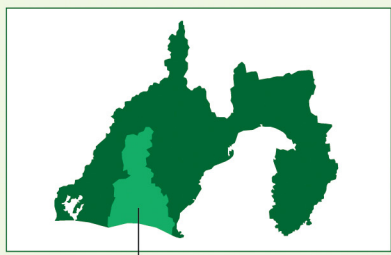
趣味 剣道(四段)・居合道(三段)・水鷗流)



宮沢ひろゆき磐田事務所 地図



静岡県第三選挙区



磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市(旧浜岡町)、森町、浜松市(旧春野町)

宮沢ひろゆき(自民党静岡三区支部)事務所

磐田事務所

〒438-0086 静岡県磐田市見付 5738-13
TEL: 0538-30-7701 FAX: 0538-30-7702

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 1021号室
TEL: 03-3581-5111 内線51021 FAX: 03-3508-3435

http://www.miyazawa-hiroyuki.jp
E-mail: office@miyazawa-hiroyuki.jp

コラム 猛虎千里

ソフトでなければ

国会議員として、官庁の役職者や団体の役員、会社の幹部の方々とお話をさせて頂く機会が大変多いです。

強烈なリーダーシップと手腕の巧みさを全面に出される方が多いのかと思いきや、殆んどの方々ソフトな語りかけで控えめであったことは驚きであり多くを学びました。

理由は何でしょうか?どのような組織でも人の和が重要であるため、強引な人では衆望が集められません。また、自己の能力の向上に力を注ぐより、社

会や組織の発展に尽力すれば自ずとソフトになってくるのでしょうか。そして現実的な話として、必要以上に出る杭となつては志も遂げられないため、ある程度の控えめな態度が重要なはずですが、さらに、より多くの方々と接すると、自己過信などなく自然と謙虚でいられるのではないかと私は考えました。

多くの先輩の人柄から、自己を見つめ直し、次の修練の目標が得られました。精進あるのみです。

